

応募資料作成要領

(1) 応募に必要な資料

応募にあたっては、以下の資料を提出すること。各様式については、九州地方整備局ホームページ (<http://www.qsr.mlit.go.jp>) よりダウンロードするものとする。

応募資料に使用する言語は日本語とする。やむを得ず他国語の資料を提出する場合は、日本語で解説を加えるものとする。

- ① 「九州地方整備局 活用促進型〔試行〕の技術募集」申請書：様式－1
- ② 技術概要書：様式－2
- ③ 施工実績内訳書：様式－3、様式－4
- ④ その他参考資料の最新資料（NETIS登録申請時に提出された資料）：自由様式
- ⑤ 見積り書（見積り額は直接工事費とする。）、工事期間（全体所要日数＝全体数量÷1日当りの施工数量）：自由様式
- ⑥ 電子データ（様式－1、様式－2、様式－3、様式－4、及び「その他参考資料の最新資料」、見積り書及び工事期間の電子ファイルを収めたCD-R）・・・・・・1式

※提出資料はA4判とする。ただし、④の資料の内パンフレット等でA4判では不都合なものについては、任意の大きさとする。また、④の資料には通し番号を記入すること。

※①、②、③、④、⑤は、まとめて1部とし、左上角をWクリップで留め、合計3部（正1部、副2部）提出すること。なお、⑥については、1部提出する。

(2) 各資料の作成要領

- 1) 「九州地方整備局 活用促進型〔試行〕の技術募集」申請書・・・・・・

(A4判 1枚)：様式－1

- ① 応募者は、応募技術を中心となって開発された「個人」または「民間企業」とする。応募者が「個人」の場合は、所属先と役職並びに氏名を記入の上、本人の印を押印すること。また、応募者が「民間企業」である場合は、企業名とその代表者の役職並びに氏名を記入の上、公印を押印すること。
- ② 「1. 技術名称」は、NETIS登録上の技術名称を記載すること。
- ③ 「3. 担当窓口（選考結果通知先）」は、応募にあたっての事務窓口・連絡担当者1名を記入すること。
- ④ 「4. 共同開発者（個人・民間企業・行政機関等）」は、共同開発を行った応募者以外の個人や民間企業、行政機関等について記入すること。なお、共同開発者がいない場合は記入する必要はない。

2) 技術概要書・・・(A4判 1枚程度)：様式-2

①技術名及び副題

技術名称及び副題は(様式-1)と同一にすること。

②施工実績

最新の施工実績(平成25年3月11日までに新技術の施工が完了した実績)を記入すること。

※6.(3)選考の「施工実績」を参考とすること。

③NETIS申請上の従来技術(名称、技術概要)

様式-2記入例を参考にして記入すること。

④新技術(概要、技術の売り、技術の成立性)

様式-2記入例を参考にして記入すること。

3) 施工実績内訳書・・・(A4判 1枚)：様式-3、様式-4

応募技術のこれまでの施工実績(平成25年3月11日までに新技術の施工が完了した実績)について、発注機関毎に最新の10件まで記入すること。

国土交通省の施工実績がある場合は、優先して記入すること。なお、施工実績記載工事の10件全てについて「施工管理資料」を「様式-4」に記載すること。

4) その他参考資料の最新資料・・・(自由様式)

NETIS登録申請時に提出された「その他参考資料」について、内容等に変更がある場合は差替え等を行い最新版の資料を作成すること。

5) 見積り書、工事期間・・・(自由様式)

①見積り書

・見積り書の見積り額は直接工事費で作成すること。

※セメント添加材使用量を決定した根拠資料も添付すること。

②工事期間

工事期間は、「全体所要日数=全体数量÷1日当りの施工数量」で作成すること。

6) 電子データ(様式-1、様式-2、様式-3、様式-4、及び「その他参考資料の最新資料」、見積り書及び工事期間の電子ファイルを収めたCD-R)・・・1式

①CD-Rのフォーマットの形式は、IS09660(レベル1)とする。

②電子データについては、ウイルスチェックを行なうこと。ウイルスチェックソフトは、最新のウイルスが検出できるよう常に、最新のデータに更新(アップデート)したものを使用すること。